

独習を支える多様な学習環境と『サイバー自習室』の比較検討

Comparative study of various learning environments and
"Cyber Self-Study Room" supporting self-study

高橋操 中野裕司
Misao Takahashi Hiroshi Nakano
熊本大学
Kumamoto University

<あらまし> 人生 100 年時代の到来を見据え、誰もが世代を超えて生涯にわたり学び続けることが求められており、その一助となるべく、『サイバー自習室』の開発に取り組んでいる。オンライン上に集った利用者が、独習と休憩のセットを繰り返し、学習ペースを同期させながら、各自の学習目標の達成を目指す。『サイバー自習室』と同様、個々人の多様なニーズに対応し、あらゆる世代からのアクセス可能な学習環境がオンライン・オフラインで提供されている。本稿では、多様な学習環境と『サイバー自習室』の特徴をまとめ比較するとともに、サイバー自習室への応用を検討した。

<キーワード> サイバー自習室, サードプレイス, 独習, Pomodoro Technique, Co-presence

1. はじめに

急速に変化し予測困難な現代において、人生 100 年時代を迎えるにあたり、誰もが生涯を通じて学び続けられる学習環境の構築が不可欠であると考え、Web アプリを含め『サイバー自習室』の開発に取り組んでいる。現在、『サイバー自習室』と同様、個々人の多様なニーズに対応し、あらゆる世代がオンライン・オフラインにてアクセス可能な学習環境が提供されており、本稿では、5つの学習環境を体験し、本システムとともにその特徴について表1に示した。これは、筆者の利用体験に基づいているため、本文および表のコメントに主観的なものが含まれることを申し添える。

2. 多様な独習環境の比較

各学習環境の「参加者同士の交流」において、「勉強カフェ」「私設図書館」では、学習エリアと休憩エリアを明確に区分けし、休憩エリアを利用者同士の交流の場として設計。同様に『サイバー自習室』でも、1セット「独習 55 分と休憩 5 分」という時間の区分けを設けており、「休憩 5 分」では開室主催者が進行役となり、利用者の雑談など交流を促す(高橋, 中野 2024)。一方、休憩終了のチャイムが鳴ると直ちに雑談を切り上げ独習に戻るよう進行する。また、「もくもく会」オンライン環境では、SNS での文字ベースの交流が主流であり、開室中、主催者から取組む内容やその達成度に関し確認するチャットが送られる。

「原稿執筆カフェ」は、目標文字数を書き上げるという具体的な一つの目標に取り組む場

あり、その特徴から利用者の交流機会は設けられていない。「独習分野の共通性」において、「もくもく会」も、「原稿執筆カフェ」ほど厳密ではないが、IT 系分野など共通の学習目標を提示の上、利用者を募っている。他の学習環境では「独習分野の共通性」は見られないが、共通の目標がないことの利点（競争を生まない）もあると考える。また「Study With Me」は「勉強したい時に即、利用可能」で、仮想の学習仲間を得て勉強の孤独を緩和する導入効果もある。

3. 今後の取組み

他の独習環境から得た知見を参考に、『サイバー自習室』開発において以下の点を検討。

●共通学習目標があるオンライン学習会

「もくもく会」「原稿執筆カフェ」を参考に、共通目標（例えば JSET 発表予稿執筆など）を設定し、仲間を募る会をオンライン開催。

●仮想の独習仲間ボットの実装

「Study With Me」を参考に、Web アプリ(高橋, 中野 2024)に独習仲間ボットを実装。

●互いの学習について語り合う場

「勉強カフェ」「私設図書館」における交流スペース設計を参考に、学習目標の進捗について語り合うナラティブの集いを開催。

●オフライン学習会の開催

「勉強カフェ」「私設図書館」「もくもく会(オフライン)」を参考に、オフライン学習会を開催。同じ組織や地域、夏期合宿などオフライン開催が可能な場合、ピアプレッシャーの効果が期待できる。

参考文献

高橋操,中野裕司(2023)『サイバー自習室・フリースタイル』が独習者にもたらすサードプレイスとしての役割.日本教育工学会 44 回大会講演論文集 pp375-376
 高橋操,中野裕司(2024)『サイバー自習室』で「Co-presense」を実現する Web ア

プリケーション開発の現状と今後. 教育システム情報学会第 49 回全国大会講演論文集
 高橋操,中野裕司(2024)『サイバー自習室』の WEB アプリケーション開発.情報処理学会 第 42 回 CLE 研究会 pp1-7

表 1 独習を支える学習環境の比較

名称	サイバー自習室	もくもく会	勉強カフェ	原稿執筆カフェ	私設図書館	Study With Me
	(個有名)	(一般名)	(個有名)	(個有名・東京)	(個有名・京都)	(一般名)
開始	2019年	2000年代後半	2008年	2022年	1973年	2010年代後半
概要	利用者がオンライン上に集い、55分の独習と5分の休憩を1セットとし、ペースを同期させながら、各自の学習目標の達成を目指す。WEBカメラをオンにし、勉強している姿を互いに認識し合うこと「Co-presense」(高橋2024)でモチベーションを高める。利用者の交流を重視し、「サードプレイス」として機能。	プログラミングや資格試験対策など様々なテーマのもとオンライン・オフラインにて開催されており、自分の目標に合った会に参加する。学習中は会話は控え黙々と取り組むことが名前の由来である。同じ目標を持つ仲間と交流できる利点がある。基本的な流れは「自己紹介」→「各自作業」→「進捗発表」→「解散」。	全国100店舗以上、約5000名以上が利用。勉強に集中する「ワークスペース」と飲食・会話しながら休憩できる「ラウンジ」がある。セミナーなどイベントも開催される。参加者同士の交流の場となっている。ピアブレッシャーを与え合う相互作用において学習目標の達成を目指す。	「原稿執筆」に集中したい人向けのタスク限定型のワークスペース。会話禁止。入店時に、執筆時間・目標文字数を記入し、達成しないと退店できない仕組み。希望に応じて進捗状況を確認。利用者同士の物理的距離が近く、緊張感がダイレクトに伝わりモチベーションが上がる。	全国に私設図書館はあるが、本の貸出のみを行う「私設図書館」について述べる。50年以上の歴史がある木造建築の図書館で、昭和レトロな装飾が施され落ち着いた雰囲気がある。静寂の中、読書やPC作業に集中することができる。また、利用者が休憩や交流をする「休憩室」がある。	YouTubeで#Study With Meと検索すると自分が勉強している姿を配信する様々な動画が見つかる。動画の中の人物と一緒に勉強しているような仲間の存在を疑似的に体験でき、学習のモチベーション維持に効果的である。自然環境音を取り入れるなど、様々なテーマから学習者にあった動画を選択可能。
参加者同士の交流	◎ 5分間の休憩、閉室時のシェア時間さらにSNSで学習目標や、学習を通じて得た気づきなどを共有。	△ オフラインではワーキングスペース等集い小規模の交流が行われている。オンラインでは、SNSを活用した文字ページの任意の交流が主流のよう。	○ 各カフェが主催の様々なセミナー、ラウンジなど、交流環境が整う。ラウンジでは、BGMが流れ、会話および飲食可能で、交流よりもリラックスして勉強するスペースという印象。	×	○ 建物の各階に「休憩室」と称した会話できるスペースが用意されている。利用者は各自の勉強に集中しているので机から離れることがほぼなく、この部屋への入室はあまりないような印象。	×
交流を促す進行役の介入	◎ 開室主催者が担当	△ オンラインではほぼ無し	△ セミナー以外ほぼ無し	×	×	×
独習分野の共通性	○ 学習目標が各自異なるので、「競争」が生じない。しかし、目の前のタスクをやり遂げたい、という目的において利用者が精神的な結びつきを形成。	△ 基本的に、ITやデザインなど分野が共通しており、利用者のニーズにあった多様な会が開催されている点が、大きな特徴。	△ 時間帯によって利用者のタイプに変動があるように。室内掲示された各自の目標は多岐にわたり、互いが目にすることで学習意欲向上の仕掛けも。	×	△ 「勉強カフェ」と同様、様々な世代が勉強しており、学習目標は多様。なお、学習目標をシェアする仕組みはない。	○ その特性上、独習分野の共通性はない。
勉強したい時に即、利用可能	○ WEBアプリを使えば24時間利用可能	△ 主催者を担当すれば可能	△ 開店時間内であれば可能	×	△ 開店時間内であれば可能	○
開催告知	○ Slackより開室主催者が告知。(WEBアプリではGoogleカレンダー併用)	○ ポータルなどで、色々な開催予定について検索・確認できる。	/	/	/	/
主催者が必要	△ アプリ利用時は不要	○	/	/	/	/
SNS連携	○	○	×	×	×	△
オンライン参加	○	○	×	×	×	○
オフライン参加	×	○	○	○	○	×
参加費用	×	△ オフラインは必要	○	○	○	×
利用者層	社会人が多い	年齢層は不明だが、IT従事者が多そう	高校生、大学生、社会人、高齢層など	執筆タスクを有する社会人層	高校生、大学生、社会人、高齢層など	全人類
参考URL (最終アクセス 2024.06.15)	https://sites.google.com/view/cyberselflearning	https://ja.wikipedia.org/wiki/もくもく会_(集会)	https://www.benkyo-caffe.net/about/	https://koenji-sankakuchitai.blog.jp/	http://shisetsu.life.cocan.jp/	https://blog.youtube/culture-and-trends/study-with-me/